



昨年の台風 14 号の被害

## 防災特集

# 大雨・台風の季節が到来

# 災害に対する備えはできていますか?



6月に入り、本格的な梅雨と台風の季節がやってきました。これからの季節は、大雨や長雨台風による土砂災害などが心配されます。

本県では、毎年のように各地でがけ崩れや土石流などが発生し、これまで多くの尊い命や財産が失われております。

また、錦江町においても、昨年は台風14号が襲来した際、人家や道路などに多大な被害をもたらしました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、現在も台風の爪あとが残っている状況です。

昨年の台風14号や過去の災害の教訓を生かし、日頃から災害に備えてください。

### 日頃から災害に備える

災害の発生を早めに察知するため、日頃から危険箇所などを把握しておくことが重要です。自宅周囲の急傾斜地、河川など、災害発生が予想される場所を把握しておきましょう。

また、停電に備えるため、懐中電灯、携帯ラジオや予備の電池を準備するほか、避難する際に持ち出す貴重品などの確認をしておきましょう。

そのほか、自分の地域の避難場所と、避難場所までの安全な経路を確認しておくことも必要です。

### 気象情報の確認

大雨や台風などは、ある程度降雨量や規模、台風の接近を予想することができます。

早めに情報入手することによって、迅速な対策を講じることが出来ます。テレビの気象情報や町の防災無線による情報に十分注意し、いつも最新の情報を入手するように心がけましょう。

### 危険を感じたらすぐに非難を!

大雨や台風の接近が予想される場合は、風雨が強くなる前に家の周りの片付けを行うなどしっかりと対策を行ってください。もし、土砂災害の前兆現象を確認したり河川増水など、身に危険を感じたらすぐに自主避難をするよう心がけましょう。

また、風雨が強くなってからや暗くなつてからの避難は非常に危険ですので、できるだけ早